

1. RS-SIP1をご使用になる前に

動作環境について

(2012年4月現在)

ご使用になるためには、下記の動作環境が必要です。

- ◎対応OS : Microsoft® Windows® 7
Microsoft® Windows Vista® *1
(Service Pack2以降)
Microsoft® Windows® XP *1
(Service Pack3以降)
※上記の日本語OSに対応しています。
- ◎CPU : Core 2 Duo 2GHz以上
- ◎メモリー : 2GB以上
- ◎ハードディスク : 2GB以上の空き容量
- ◎ディスプレイ : XGA(1024×768)以上の画面解像度
True Color対応のビデオカードとモニター
- ◎ネットワーク : 100BASE-TX

【対応するUSBの規格】

- インターフェース : USB2.0
- デバイス : USB大容量デバイス*2
(USB Mass Storage Class)
- フォーマット : FAT16/FAT32*3

- ★1 64ビット版OSに対応していません。
- ★2 指紋認証型、アプリケーション認証(パスワードを入力したらアクセスできる)型など、セキュリティー対応型のUSBメモリーは使用できません。
- ★3 exFATやNTFSなど、ほかのフォーマットには対応していません。

このたびは、VR-7000をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

RS-SIP1は、画面にしたがって操作するだけで、ひかり電話(網直収)、ISDN回線やアナログ電話回線をご利用になるVR-7000の電話設定を構築できるVoIP設定ツールです。

ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

設定の対象について

RS-SIP1でVR-7000*4初期導入時の設定情報を作成できるのは、ひかり電話(網直収)、ISDN回線、アナログ電話回線をご利用になる場合だけです。

また、RS-SIP1の対象になるのは、VR-7000の設定に関連する下記の項目だけです。

※導入以降は、必要に応じてVR-7000の管理者用設定画面で設定を変更してください。

- ◎ご契約された回線の電話番号設定
ひかり電話(網直収) : 契約者番号および追加番号
ISDN回線 : 契約者番号のみ
アナログ電話回線 : 契約者番号のみ

- ◎[TEL] (1/2)ポートに接続するアナログ電話機の設定
内線番号*5
外線発信するときの回線(電話番号)指定

- ◎多機能電話機*6の設定
内線番号*6とパスワード
外線発信するときの回線(電話番号)指定

- ◎外線着信時に鳴動する端末(内線番号)の指定

- ◎多機能電話機*6のフレキシブルボタン機能設定*7

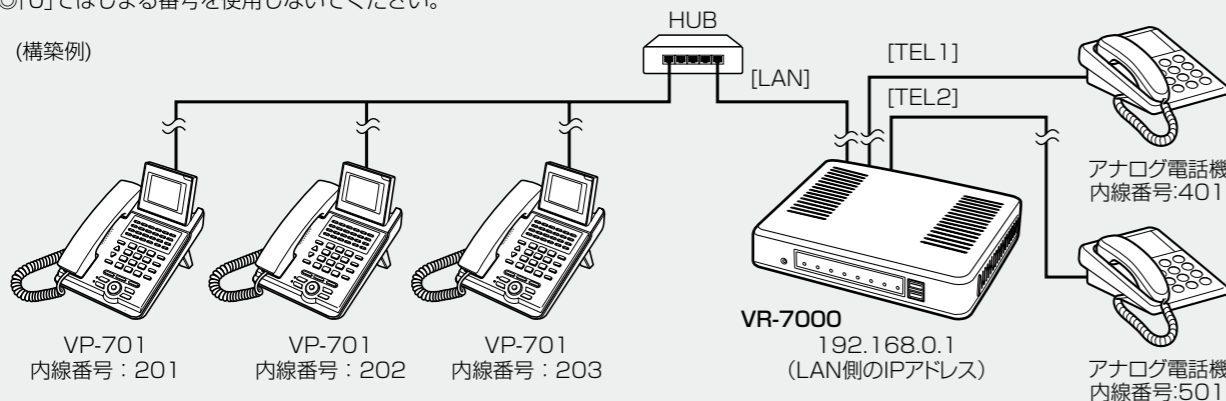
- ★4 対象となるのは、工場出荷状態のVR-7000だけです。
- ★5 端末ごとに設定が必要です。
ご使用の環境で、重複しないように構築してください。
- ★6 対象となる端末は弊社製VP-701だけです。
- ★7 フレキシブルボタン機能について詳しくは、VR-7000の設定マニュアルをご覧ください。

内線電話の構築と内線番号について

VR-7000の内線子機として、[TEL1]ポート、または[TEL2]ポートに接続するアナログ電話機(2台)とは別に、多機能電話機 VP-701を最大24台まで登録できます。

【内線子機として使用する端末に内線番号を設定するときは】

- ◎半角数字で2~7桁の番号にしてください。 ◎緊急通報(110、118、119)の番号は使用しないでください。
- ◎「0」ではじまる番号を使用しないでください。



2. ご使用までの流れ

ブロードバンド回線の開通、IP電話サービスの工事、機器の設置工事、開通試験の完了がすべて通知されましたら、本書の手順を参考に設定を開始してください。

【ご利用になる回線について】

ひかり電話(網直収)を設定できるのは、NTT東日本、またはNTT西日本が提供するNGN(次世代ネットワーク)のひかり電話オフィスA(エース)、ひかり電話オフィス、ひかり電話A(エース)、ひかり電話サービス、いずれかのIP電話サービスをご契約されている場合に限りです。

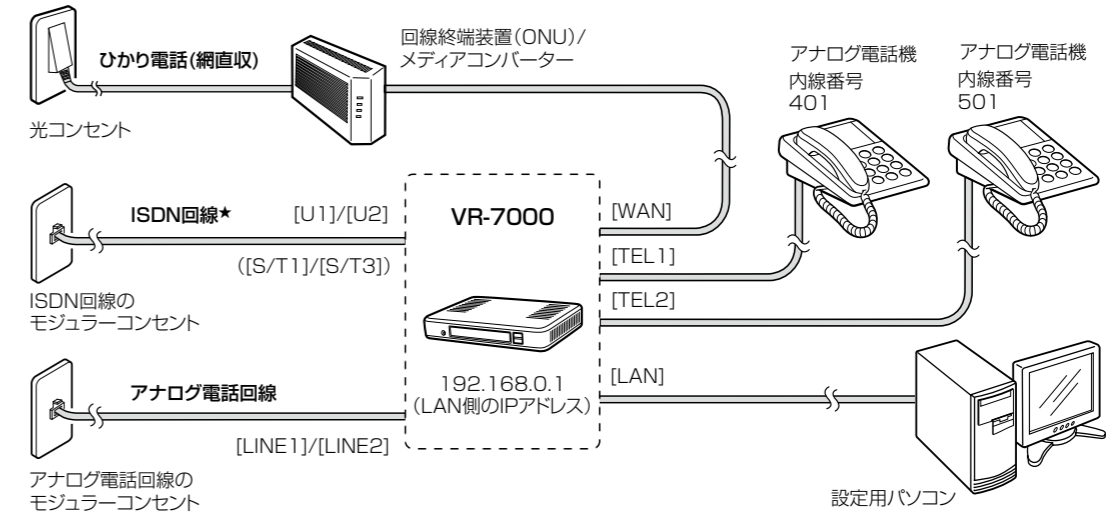
ISDN回線、アナログ電話回線を設定できるのは、NTT東日本、またはNTT西日本が提供するINSネット64、加入電話の契約者番号に限りです。

Step 1 使用する電話回線の確認

- ひかり電話(網直収) : 契約者番号および追加番号の確認
- ISDN回線 : 契約者番号/接続するポートと回線番号(下表参照)の確認
- アナログ電話回線 : 契約者番号/接続するポートの確認

Step 2 接続して電源を入れる

下図のように、ご使用になる回線や各機器をVR-7000に接続します。
※VR-7000の各ポートやスイッチなど詳しくは、VR-7000の接続ガイド、または設定マニュアルをご覧ください。



★ISDN回線用のポートについて

VR-7000に内蔵のDSUにより、ISDN回線を[U1]ポートと[U2]ポートに直接接続できます。
G4ファクシミリなどのISDN機器、市販のDSUやDSU内蔵のISDN機器(TAなど)を[S/T1]ポートと[S/T3]ポートに接続できます。
[S/T1]ポートに接続したISDN機器は、ISDN2とISDN3の回線では使用できません。
[S/T3]ポートに接続したISDN機器は、ISDN1とISDN2の回線では使用できません。

○:使用可能 ×:使用不可能

ポート 回線	U1	U2	S/T1	S/T3
ISDN1	○	×	○	×
ISDN2	×	○	×	×
ISDN3	×	×	×	○

Step 2で、ひかり電話(網直収)を接続したときは、Step 3の設定をはじめの前に、VR-7000の[VoIP]ランプが緑色に点灯していることをご確認ください。

Step 3 RS-SIP1による電話設定

RS-SIP1を起動して、画面にしたがって、ご使用になる回線の契約者番号や内線番号など設定し、ネットワーク経由、またはUSBメモリーを使用してVR-7000に反映します。
※RS-SIP1使用時の注意事項などについては、本書裏面をご覧ください。

Step 4 VR-7000の設定

ご使用になるネットワーク環境に応じて、VR-7000のLAN IPアドレス(出荷時の設定: 192.168.0.1)やDHCPサーバー機能(出荷時の設定: 有効)を管理者用の設定画面で変更してください。
※詳しくは、VR-7000の設定マニュアルをご覧ください。

Step 5 VP-701の設定と接続

VP-701に内線番号などを設定し、ご使用になるネットワーク環境に接続します。
※VP-701を使用するには、VR-7000に接続できるネットワーク環境が必要です。
※詳しくは、VP-701の取扱説明書をご覧ください。

Step 6 発着信の確認

本製品に接続したアナログ電話機、VP-701から発信を確認します。
※外線へ発信できない場合は、各機器の接続状態、または管理者用の設定画面で設定内容を確認してください。

3. RS-SIP1で作成する設定情報について

使用する回線種別と電話番号の設定

IP (契約番号)	ひかり電話 (網直収) の契約者番号
IP (追加番号)	ひかり電話 (網直収) の追加番号
ISDN1/2/3	ISDN回線の契約者番号
アナログ1/2	アナログ電話回線の契約者番号 ([LINE1]、[LINE2]ポート)

※ISDN回線については、表面「2.ご使用までの流れ」の表をご覧ください。

内線電話機の設定 (TELポートに接続するアナログ電話機)

TEL1/2ポート	[TEL1]、[TEL2]ポートの内線番号と外線発信時に使用する回線 (電話番号)
-----------	---

内線電話機の設定 (VP-701ごとの設定)

VP-701に設定する内線番号とパスワード、外線発信時に使用する回線 (電話番号)

鳴動する内線番号 (外線着信時に鳴動する子機の内線番号設定)

使用する回線 (電話番号) ごとに、外線着信時に鳴動する子機の内線番号

多機能電話機のフレキシブルボタン機能割り当て (VP-701の設定)

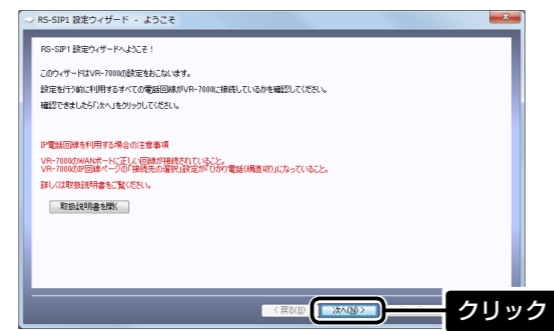
必要に応じて、VP-701のフレキシブルボタンに〈外線キー〉などの機能を割り当てる

4. RS-SIP1 設定ウィザードを開始するときは

- VR-7000に付属しているCD (UTILITY DISC) をパソコンのCDDドライブに挿入します。
メニュー画面が自動的に表示されます。
- メニュー画面の〈RS-SIP1 設定ウィザード〉をクリックして、RS-SIP1を起動します。



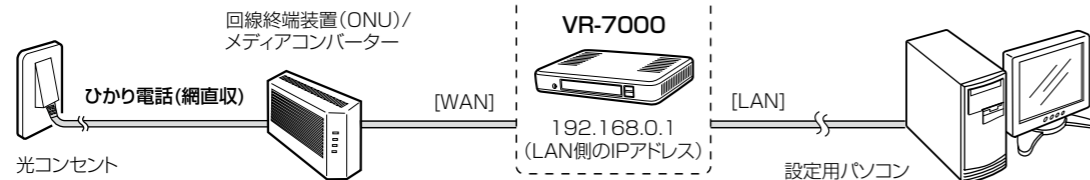
- 「RS-SIP1 設定ウィザード - ようこそ」画面が表示されたら、〈次へ (N)〉をクリックします。



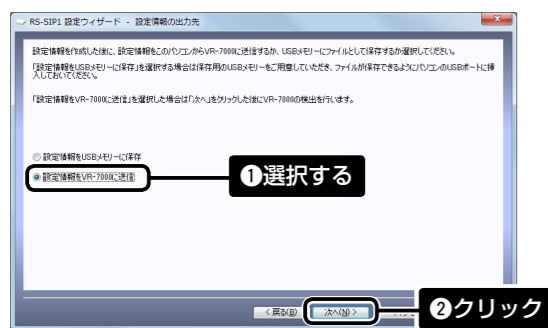
※表示される画面にしたがって、設定情報をネットワーク経由でVR-7000に送信するか、USBメモリーに保存するか選択します。

5. ネットワーク経由で設定するときは

設定用パソコンと同一ネットワーク上にVR-7000が接続されているときは、RS-SIP1で作成した設定情報をネットワーク経由でVR-7000へ送信します。(※本書では、ひかり電話 (網直収) を設定される場合を例に説明しています。)



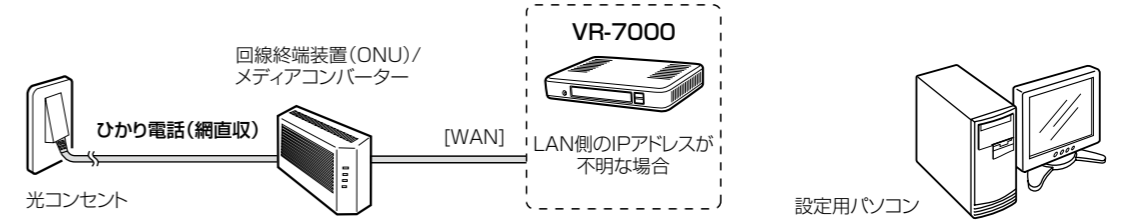
- 「4.RS-SIP1 設定ウィザードを開始するときは」の手順1～手順3を操作します。
- 「設定情報をVR-7000に送信」を選択して、〈次へ (N)〉をクリックします。



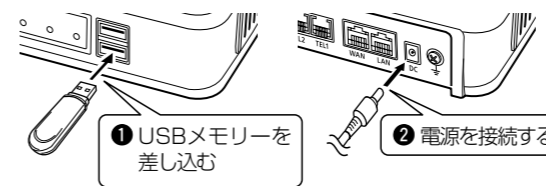
- 表示される画面にしたがって、使用する回線の電話番号、内線電話機の内線番号、外線発信/着信時の端末指定、多機能電話機のフレキシブルボタン機能割り当てを設定します。
- 「RS-SIP1 設定ウィザード - 設定情報を送信」画面が表示されたら、〈次へ (N)〉をクリックします。
※「設定情報の送信に失敗しました」が表示されたときは、VR-7000の[WAN]ポートが正しく接続されているか確認してください。
- 「RS-SIP1 設定ウィザード - 完了」画面が表示されたら、〈完了〉をクリックします。

6. USBメモリーを使用して設定するときは

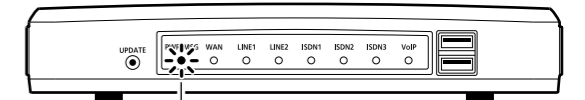
RS-SIP1で同一ネットワーク上のVR-7000が検出できないときは、USBメモリーを使用して、RS-SIP1で作成した設定ファイルをVR-7000へ反映します。(※本書では、ひかり電話 (網直収) を設定される場合を例に説明しています。)



- USBメモリー (市販品) をパソコンに差し込みます。
- 「4.RS-SIP1 設定ウィザードを開始するときは」の手順1～手順3を操作します。
- 「設定情報をUSBメモリーに保存」を選択して、〈次へ (N)〉をクリックします。
- 表示される画面にしたがって、使用する回線の電話番号、内線電話機の内線番号、外線発信/着信時の端末指定、多機能電話機のフレキシブルボタン機能割り当てを設定します。
- 「RS-SIP1 設定ウィザード - 完了」画面が表示されたら、〈完了〉をクリックします。
- USBメモリーをパソコンから取りはずします。
※USBメモリーの取りはずしは、各周辺機器に付属する取扱説明書の記載内容にしたがってください。
- VR-7000から電源を取りはずします。
【ご注意】 データ保護のため、必ずVR-7000の電源を取りはずしてから、USBメモリーを差し込んでください。
電源を接続した状態で、USBメモリーを差し込んでも、RS-SIP1で作成した設定ファイルの読み込みが開始されません。
- 設定情報が保存されたUSBメモリーをVR-7000の[USB]ポートに差し込んでから、電源をVR-7000に接続します。



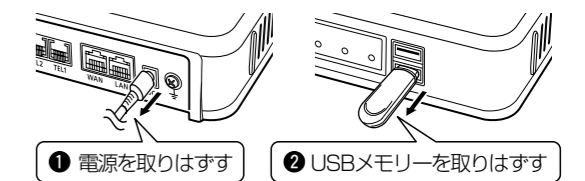
- [PWR/MSG] ランプが緑色で点灯後、約3秒経過すると、USBメモリーへのアクセスが開始されます。アクセス (設定反映) 中は、[PWR/MSG] ランプが橙色に点滅します。
【ご注意】 設定の反映が完了するまで、絶対にUSBメモリーを取りはずしたり、電源を取りはずしたりしないでください。途中で、USBメモリーや電源を取りはずすと、設定ファイルの消失や故障の原因になります。また、設定の反映が完了するまで、VR-7000の設定画面にアクセスしないでください。



アクセス (設定反映) 中は橙色で点滅

※ご使用の環境により、[PWR/MSG] ランプ以外の状態は異なります。

- [PWR/MSG] ランプが消灯し、VR-7000が再起動します。起動中、[PWR/MSG] ランプが緑色の点滅から点灯に切り替わったことを確認してからVR-7000から電源を取りはずします。最後に、VR-7000からUSBメモリーを取りはずします。
※USBメモリーには、設定反映前の内容を保存した設定ファイルが自動でバックアップファイル (bakdata.sav) として作成されています。
【ご注意】 データ保護のため、必ずVR-7000の電源を取りはずしてから、USBメモリーを取りはずしてください。



登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、WAVEMASTERは、アイコム株式会社の登録商標です。Adobe、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。本書の著作権およびハードウェア、ソフトウェアに関する知的財産権は、すべてアイコム株式会社に帰属します。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。